



No.70 2006.4

新入生歓迎号

# ナツちゃんからのメッセージ

本学卒業の漫画家たなかじゅん氏からメッセージが届きました。

新入生の皆さんへ

学生時代にしか  
経験できないことは  
いっぱいあります。  
夢を持っていろんなことに  
チャレンジしましょう！



たなかじゅん氏 1989年本学電子工学科卒。  
在学中は漫画同好会に所属。  
小学館新人コミック大賞入選。卒業と同時に  
上京。「ナツちゃん」シリーズ等で活躍中。

|                                       |        |
|---------------------------------------|--------|
| 目次                                    |        |
| ナツちゃんからのメッセージ<br>(たなかじゅん)             | -----1 |
| 快適な図書館で人間力を高めよう<br>(久津輪敏郎)            | -----2 |
| 本学出身作家 谷甲州氏講演会に想う(盛田邦彦)<br>本学出身作家コーナー | -----3 |
| 新入生の皆さんへ 先輩からのアドバイス<br>(木本佳宏・井上謙次)    | -----4 |

## 快適な図書館で人間力を高めよう

—館長を辞するにあたり—

前図書館長 久津輪 敏郎



新入生の皆さんご入学おめでとう。憧れの大阪工業大学に入学されて、希望に燃えていることでしょう。4年間勉学やクラブ活動に活躍し、図書館も大いに利用してください。

私は2002年4月から本年3月までの4年間、館長を勤めさせていただきましたが、その間を振り返りつつ、皆さんに図書館の紹介とその利用を勧めたいと思います。

本学図書館は、工学部・知的財産学部の大宮本館と、情報科学部の枚方分館からなっています。枚方分館は、情報科学部1号館の3、4階の北側部分にあり、1996年の開館当初から、情報の森に囲まれた公園をイメージした、AVパーク、ライブラリーパークなどからなっています。勉強には勿論のこと、勉強に疲れた頭を休めるのにも最適な空間です。

大宮本館は、正門前左側のレンガ仕上げの建物です。25年前の開館当時は落ち着いた雰囲気好評でしたが、時代の流れと共に「図書館は暗い」と不評になり、利用が少なくなっていました。そこで私は館長に就任した際に「明るく利用しやすい図書館」を目指して多方面の協力を得ながら様々な改善を進めてまいりました。まず設備面では、館長室を撤去してビデオやDVDが楽しめるAV室の拡張、美術部員や写真研究部員の作品を定期的に展示する「画廊LIB」の開設、さらには照明器具の取替え、壁面の塗り替え、床面カーペットの張替え、トイレの改装など、まだまだ途中ではありますが、以前に比べて見違えるほど明るくきれいになりました。内容の面では、これまでの書籍の収集、整理、貸出だけでなく、電子情報の収集、発信が必要であると考え、各種新聞・雑誌の記事検索、科学技術文献速報、研究社英語辞書の検索など、各種データベースの導入に努め、「オンライン文献検索説明会」、「情報リテラシー講習会」、「ライブラリツアー（図書館利用説明会）」などを行いました。また、地域や産業界との連携も大切だと考え、近隣住民への開放、卒業生への利用拡大も行ってきました。

昨年は、開館25周年を記念して「本学の歴史、図書館の歴史展」、「本学出身の作家・谷甲州展」、「本学出身の芸術家たち展」などを行い、11月には谷甲州氏の記念講演会も行いました。本年度には、本学出身の漫画家・たなかじゅん氏に講演をお願いしており、本紙の第1ページにその絵とメッセージを掲載して頂いております。

このように図書館は、従来の書籍中心から、あらゆる情報の発信基地として非常に重要な役割を担い、さらに進化していこうとしています。皆さんが如何に図書館を利用するか、あるいはしないかによって4年間には大きな違いがでできます。皆さん自身の進化を遂げるためにも大いに利用してください。

なお、4月中旬から5月中旬にかけて、ライブラリツアーを開催しますのでぜひ参加していただき、図書館に親しんでください。そして人間力を高めてください。

(工学部 電子情報通信工学科教授)

# 本学出身作家 谷甲州氏講演会に想う

工学部 電子情報通信工学科 4年次  
盛田 邦彦



私はこの講演会で、やるべきことがよりはっきり明確になった気がします。

甲州先生が大学内でどのようにすごして今にいたったかがわかりうれしく思います。なぜうれしく思うかと申しますと、私も授業中後ろの席などでゲームプログラムを打ったり、趣味の小説を書いたりしているからです。興味のある授業は一番前に座って聞いています。

大学内で如何に好きなことをやり、熱中するか、それこそが成功する第一歩だとさらに確信しました。

そして、好きなことが早く見つければその分日々の生活が充実し、無駄な時間がなくなるということが大学生活や講演会でわかりました。

最後に、大事なのは見かけ上の勉強ではなく、好きなことを深く知ろうとする欲求なのだ、と私は思いました。

今回はこのような講演会を開催していただき、ありがとうございました。

## 本学出身作家コーナー開設

大宮キャンパス8号館1階のブックセンターに本学出身作家（土木工学科 1973 年度卒作家谷 甲州氏、電子工学科 1988 年度卒 漫画家 たなか じゅん氏）のコーナーを設けて著書を販売しています。なお、図書館（本館）にも同様のコーナーを設けています。



ブックセンター（大宮）



図書館（本館）

新 入 生 の 皆さんへ

工学部 応用化学科 3年次

木本 佳宏



皆さん、長い受験期間を終えられて、日々を有意義に過ごされていることと思います。さて、これから大阪工業大学で4年間過ごされる皆さんのために僕の図書館利用法を紹介します。まず、本を読むことをお勧めします。受験勉強で疲れた心を休めるためにも、ぜひ本を読んだください。自分の読みたい本が図書館にない場合はリクエスト制度を利用します。僕はこの制度を活用し、さまざまなジャンルの本を読み読書力を身につけました。次にAV室を利用することをお勧めします。勉強で疲れた頭をリフレッシュさせるためや授業の予習で必要な情報を得るために最適なところです。その他図書室はもちろん、閲覧室は自習するのにもってこいです。

以上のように図書館は皆さんの勉学をサポートしてくれます。大いに利用されることをお勧めします。

大学院情報科学研究科 情報科学専攻

井上 謙次



新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんが卒業するまでの4年間にかかる学費は500万円です。アルバイトじゃなかなか稼げません。大きな額です。ですから、500万円の投資に見合うだけのものを必ず手に入れて卒業してください。そして、そのためには『知の宝庫』である図書館が利用できます。

なぜ図書館なのか。今の日本は自由で平等な資本主義社会です。ジウでビョウドウなシホンシュギというのは、知恵と知識を持つ者が『勝ち』、そうでない者が『負ける』社会のことです。簡単に言えば、知恵と知識があればあるほど『幸せ』になる。これを機会の平等と呼びます。ですから、図書館を使って知識を得ることが大切です。図書館はあなたと知とを結ぶ架け橋のようなものなのです。

ところで、本学に入学された皆さんの多くは将来エンジニア（技術者）を目指されていると思います。エンジニアになられる皆さんは、自分の専門分野だけではなく、幅広いジャンルの本を読むことを——小説や映画（図書館で観れます）も含めて——おすすめします（読みたい本が図書館にない場合、趣味の本でも購入依頼を出せばたいてい購入してもらえます）。本を多く読むことで社会人として伝えたいことを他人に伝える力がつきますし、『バランス』のとれた人間になれるでしょう。

それでは、僕たちの大阪工業大学での出会いを祝しましょう。楽しい4年間を！

大阪工業大学図書館報「ぱびろにくす」  
No.70 (2006.4)  
編集発行 大阪工業大学図書館  
〒535-8585 大阪市旭区大宮5丁目16番1号  
TEL 06-6954-4108  
FAX 06-6953-9499  
<http://www.oit.ac.jp/japanese/toshokan/index.html>